

図書館だより

臨時増刊 2016.10.20
順正学園
吉備国際大学附属図書館
URL:<http://lib.jei.ac.jp/kiui/>

■ 教員からの“おすすめ図書” ■

本学の教職員から、おすすめの1冊をご紹介いただきました！

図書館では、7月13日から10月10日まで、“学生に読んでほしい”と思う図書を先生方から募集をしました。そして、今回4人の先生から、推薦いただいた図書、学習に役立つ図書を、コメントと一緒にご紹介します。

全学年向

「聴く」ことの力臨床哲学試論

鷺田清一 著 2号館104/Wa

社会福祉学科 横山 奈緒枝先生

聴くという行為について、多面的に、かつ深く述べられている本です。語り手の語る行為と同様に、「聴くこと」もまさに行為の1つなのだとすることが伝わってきます。福祉・保健・医療等を学んでいる学生はもちろん、社会に巣立っていく学生の皆さんにとって、有意義な書籍であろうと思います。

震災時の避難所で起きた実際の場面等、臨床的な話も具体的に織り交ぜられています。現代社会を生きる私たちにはコミュニケーションが重視されていますが、ことばによっていかに他者から試されたり、他者を試している

かという側面も示されます。「臨床哲学」という領域からの解説的な書籍でもあり、今後、人間関係を考えたり、築いていく上でも一助となることでしょう。

1,2年向

母親は娘を手にかけたのか

井上英夫ほか 著 2号館365.31/In

社会福祉学科 岡崎 幸友先生

貧困を原因として、千葉県で県営住宅追い出し母子心中事件が起きました。家賃の滞納による住宅明け渡しの執行当日のことです。

最低限度の生活を営む権利を有するにも拘わらず、「住む場所」を失うことになったその背景には、広がる格差と他者への不寛容が考えられます。

社会福祉学を学ぶ学生として、「支援する」ということについて深く学ぶきっかけとなる図書です。



全学年向

貧困の倫理学

馬渏 浩二 著 *購入予定

社会福祉学科 岡崎 幸友先生

地球規模で格差が広がる現代社会
において、飢えに苦しむ人たちに対する支援は、誰が行うべきなのか、またどの程度行うべきなのか、そもそも支援を行う義務があるのか。社会的弱者に対する支援は「善い」こととして理解しているが、地球規模での格差問題に、個人（＝私）の心がけでは解決しないという無力感も知っている。

だからこそ、本書を通してこの問題について深く考えて欲しい。

全学年向

未来への伝言

こやま 峰子 著 *購入予定

アニメーション文化学科 平見 勇雄先生

戦争を体験した著者が、簡潔に読みやすい文章と長さで戦時中のさまざまな出来事を書いている。

これから的学生たち全員に伝えていきたい内容なので一読を勧めたい。



社会福祉学科 片山章郎先生からは、留学生に向けた日本語学習、日本語能力試験の勉強に役立つ本を3冊ご紹介いただきました。

留学生向

「日本語能力試験」対策
日本語総まとめ N2 語彙
日本語総まとめ N2 読解
日本語総まとめ N2 聴解

佐々木仁子、松本紀子 著

片山先生より>>N2受験者が一番よく使っている本です。

横山先生、岡崎先生、平見先生、片山先生、ありがとうございました。

今回の横山先生、岡崎先生、平見先生からのおすすめ図書は、2号館2階閲覧室にコーナーを設けています。



目印のポスターはコチラ★